



社会保険労務士 越智オフィス事務所便り

「特定健診」の受診率が高い健保組合を優遇へ

◆2013 年度をメドに導入予定

厚生労働省は、「特定健診制度」の普及を促すため、特定健診を受診した加入者の割合が高い企業の健康保険組合（健保組合）などに対する優遇措置を、2013 年度をメドに導入する方針を示しました。

インセンティブの導入によって受診率を高め、中高年者の医療費を抑えることが目的とされています。

◆「特定健診」とは？

「特定健診」は 2008 年度に導入され、メタボリック症候群を改善して生活習慣病を予防するため、40～74 歳の加入者を対象にした健診を健保組合に義務付けています（罰則はなし）。

特定健診の結果、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる場合には「特定保健指導」が実施されます。

2009 年度の特定健診の受診率は約 40%で、制度導入当初に設定された「2012 年度に受診率 70%」という目標の達成は難しくなっています。

◆インセンティブ導入で受診率アップなるか

健保組合は、75 歳以上の高齢者向けの医療を維持するために「支援金」を拠出していますが、健保組合の規模や加入者の平均所得に応じて拠出額が決まっています。

今後は特定健診の受診率が他の健保組合に比べて高い、受診率が過去に比べて大きく伸びた、メタボと認定された加入者の割合が大幅に減ったなどの健保組合からは、徴収する拠出金を最大で 10%減額し、受診率が低い健保組合については徴収額を増やすとの考えです。



◆医療費抑制に向けて

日本の医療給付費（自己負担分を除く）は 2011 年度に約 33 兆円で、今後、高齢化の進展や医療技術の発展で 2025 年度には 50 兆円を超える見通しです。

医療費削減のため、国民一人ひとりが健康に留意し、病気を予防する意識を高めていく必要があるのではないのでしょうか。

「夏季休暇」に関するアンケート調査結果から

◆20 代の社会人を対象にアンケート調査

株式会社毎日コミュニケーションズが運営するポータルサイト「COBS ONLINE（コブスオンライン）」では、「社会人の夏休みに関する調査」を実施し、その結果が発表されました。

調査期間は今年の 6 月 7 日～13 日で、調査対象は 20 代の社会人男女（843 人）となっています。

◆3 割以上が「夏休みを取らない」

まず、「あなたは今年、夏休みを取りますか？」との質問に対しては、68.6%の人が「取る」、31.4%の人が「取らない」と回答しました。

上記の質問で「取る」と回答した人を対象とした「夏休みは何日取りますか？（取る予定ですか?）」との質問では、平均が「5.6日」で、今年の「5.7日」とほぼ同様でした。

また、「昨年と比べて、夏休みの日数に変化はありますか?」との質問では、74.2%の人が「昨年と同じ」と回答し、「昨年より増えた（増える）」と回答した人は10.2%でした。

◆「8月中旬」「予算1～3万円」

夏休みを取る時期については、「8月中旬（お盆）」が52.6%で最多となり、夏休み期間中に使う予算については、「1万円以上～3万円未満」が27.0%で最多という結果でした。

◆夏休みをどのように過ごすか？

夏休みの過ごし方については、次の通りの結果となりました。

- (1) 帰省 (29.4%)
- (2) 国内旅行 (21.8%)
- (3) 海外旅行 (13.8%)
- (4) 自宅でのんびり (11.9%)

1位の「帰省」と回答した人の理由としては、上位から「普段会えない家族と過ごしたいから」(64.1%)、「地元の友達と会うため」(15.3%)、「お墓参りのため」(12.3%)という結果でした。

9月の税務と労務の手続 [提出先・納付先]

10日

- 源泉徴収税額・住民税特別徴収税額の納付 [郵便局または銀行]
- 雇用保険被保険者資格取得届の提出<前月以降に採用した労働者がいる場合>
[公共職業安定所]
- 労働保険一括有期事業開始届の提出<前月以降に一括有期事業を開始している場合>
[労働基準監督署]

30日

- 健保・厚年保険料の納付 [郵便局または銀行]

- 日雇健保印紙保険料受払報告書の提出 [年金事務所]
- 労働保険印紙保険料納付・納付計器使用状況報告書の提出 [公共職業安定所]

～当事務所よりひと言～

皆さんは今年のお盆休みはどのように過ごしましたか。

今回は、子どもを連れて、横浜のアンパンマンミュージアムに行ってきました。

人気のスポットだけあって、入場するのに30分待ちという混雑ぶり。炎天下だったので大変でした。

中に入っても、写真を撮るのに並んだり、乗り物でも並んだり、人の多さに疲れてしまいました。子どもは飽きもせず、楽しんでいる様子。とりあえず、連れてきて良かったです。

ミュージアムは有料ですが、ショッピングモールは入場無料なので、そこを利用するだけの方も多いようです。

モールには、「ジャムおじさんのパン工場」や、「うどんちゃんのやたい」などの食べ物コーナーだけでなく、「バイキンUFO」に乗っている自分の姿がアニメと合成される場面を作成できるスタジオがあったり、キャラクターの椅子があるカットサロンがあったりと、子どもの心を掴んで離さない演出が沢山あります。

横浜、名古屋に引き続き、7月には、仙台でもミュージアムがオープンしたようです。被災した子ども達も元気をもらえそうかな。

今回は混雑でひと回りするのがやっとなりましたが、次回はなるべく人が少なそうな時にまた連れていきたいと思います。

